

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	1 目	社会教育総務費		(2)	文化財を保護し継承する
小 事 業	毛利コレクション調査推進費				
事 業 名	毛利コレクション調査整理事業				
目的及び事業内容	調査研究は、すべての活動の基礎である。コレクションの全体像と内容の把握のため、専任職員を配置し調査活動を行う。				
取 組 実 績	<p>平成12年度に毛利コレクション調査推進室を設置し、以後専任体制で全体像把握のための調査を実施している。平成19年度までに、灯火具・アイヌ資料等3,786点、書簡類3,332点及びマッチラベル82,052点合わせて89,170点が調査済である。</p> <p>平成20年度から鑄銭場関係資料を中心に整理を行い、銭330点について、調査を終えた。</p> <p>平成21年度も継続して鑄銭場関係資料の調査・整理を行い、約4,200点について個別データの採取、写真撮影及び実測図作成を行ったが、最終データ化は未了である。</p>				
成 果	平成20年度に引き続き、鑄銭場関係資料を対象に調査を実施し、銭だけでなく鑄銭道具等についても実測図作成に着手することができた。				
成果に係る評価	毛利コレクションを市民共有の財産として保存・継承するための一番基礎的な作業であり、今後とも継続していく必要がある。しかし、コレクションの総数は10万点を越え、現在においてもその実数は把握できていない。毛利コレクションの積極的活用には、基礎調査を推進することが肝要であり、現在よりも調査員を増員する必要がある。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	3,552,941	3,380,863			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																				
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する																																				
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する																																				
小 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容	<p>家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるようにする。幼稚園、小・中学校の保護者を対象として、各幼稚園・各学校単位に地域のニーズに合った内容で学級を開設する。また、平成22年度からは社会教育指導員を配置し、家庭教育に関する専門的な学習支援や相談体制の確立を図る。</p>																																								
取 組 実 績	<p>家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるよう家庭教育学級を開設した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の教育事務所又は公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立も含む）、小学校、中学校 3 開設状況（平成21年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学 級</th> <th>回 数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>33</td> <td>72回</td> <td>2,747人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>2</td> <td>2回</td> <td>283人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>6</td> <td>4回</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>9</td> <td>20回</td> <td>1,334人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>5</td> <td>7回</td> <td>466人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>1</td> <td>1回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>3</td> <td>4回</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59</td> <td>110回</td> <td>5,225人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	学 級	回 数	参加者	石巻地区	33	72回	2,747人	河北地区	2	2回	283人	雄勝地区	6	4回	203人	河南地区	9	20回	1,334人	桃生地区	5	7回	466人	北上地区	1	1回	120人	牡鹿地区	3	4回	72人	計	59	110回	5,225人
区 分	学 級	回 数	参加者																																						
石巻地区	33	72回	2,747人																																						
河北地区	2	2回	283人																																						
雄勝地区	6	4回	203人																																						
河南地区	9	20回	1,334人																																						
桃生地区	5	7回	466人																																						
北上地区	1	1回	120人																																						
牡鹿地区	3	4回	72人																																						
計	59	110回	5,225人																																						
成 果	<p>受講生のニーズに配慮した学習課題の設定と多様な学習方法の実施により、子どもの心身の発達に即した子育てや家庭学級のあり方についての理解が深まり、豊かな知識と情操、社会性を養うことができた。</p> <p>なお、受講生の満足度を重視し、事業の目的を明確化することにより、新たな改革改善につなげ事業の充実を図ることを目的に平成20年度から受講生の評価ポイントを実施している。</p>																																								
成果に係る評価	<p>地域連帯の希薄化、核家族化などにより子どもを育てる環境は悪化しているため、地域・学校・家庭の交流の場づくり、学習支援及び学習情報の提供が重要になってきている。今後は、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の大切さを理解していただきながら、家庭教育の担い手である親への学習機会や学習内容、情報提供等を一層充実していく。なお、未実施機関については、事業の必要性を理解していただき実施するよう働きかけ、学級開設の範囲拡大について検討していきたい。</p>																																								
（単位：円）																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	870,000	502,958	66,000			436,958																																			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち										
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ										
	2 目	文化財保護費		(2)	文化財を保護し継承する										
小 事 業	文化財保護管理費														
事 業 名	文化財保護管理事業（旧ハリストス正教会教会堂公開）														
目的及び事業内容	本市の文化財保護・保存活動を広く内外に周知するとともに、より多くの県民・市民に対して、文化財愛護思想の啓蒙普及を図る。														
取 組 実 績	<p><旧ハリストス正教会教会堂入館者数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>284人</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>492人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>3,520人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3,374人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成17、18年度は、教育委員会への予約により見学を受け付けていたため、入館者数が激減した。平成20年度からは、石ノ森萬画館への依頼による公開を実施した結果、順調な入館者数の増加が見られる。</p> <p>なお、見学者に対しては、榑街づくりまんぼうの協力により、街づくりボランティアが解説を行ったほか、必要に応じて学芸員が現地で解説を行った。</p>					年度	人数	H18	284人	H19	492人	H20	3,520人	H21	3,374人
年度	人数														
H18	284人														
H19	492人														
H20	3,520人														
H21	3,374人														
成 果	平成20年度から、榑街づくりまんぼうの協力を得て、開錠・施錠管理を依頼している。これにより、常時開館が可能となり、当教会堂の公開に伴う観覧者は、前年度並びに前々年度に比較して大幅に増加している。これにより、多くの市民に対して文化財の理解と愛護思想の高揚が図られた。														
成果に係る評価	指定文化財として保護管理していくには、建物の修繕管理（内壁のひび割れ、木製窓枠の補修等）が必要である。また、見学者の利便向上のため、展示パネルや解説パネルの作成が必要である。														
（単位：円）															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	471,422	433,482				433,482									

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち								
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくみ								
	2 目	文化財保護管理費		(2)	文化財を保護し継承する								
小 事 業	齋藤氏庭園管理費												
事 業 名	国指定名勝「齋藤氏庭園」保存管理事業												
目的及び事業内容	国指定名勝「齋藤氏庭園」の公開及び維持管理を行う。												
取 組 実 績	<p>1 齋藤氏庭園観覧者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有料観覧者数</th> <th>減免観覧者数</th> <th>無料観覧者数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,785 人</td> <td>116 人</td> <td>12 人</td> <td>1,913 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 齋藤氏庭園樹木剪定業務</p> <p>3 「マツ葉ふるい病」の緊急治療業務</p>					有料観覧者数	減免観覧者数	無料観覧者数	合計	1,785 人	116 人	12 人	1,913 人
有料観覧者数	減免観覧者数	無料観覧者数	合計										
1,785 人	116 人	12 人	1,913 人										
成 果	平成21年4月から「齋藤氏庭園の管理団体」として、3人の管理人（パート職員）を雇用し、維持管理を行うとともに、樹木剪定等庭木の管理を委託し、国民共有の財産として保存するとともに、広く公開することにより、市民の郷土意識を育み、また本市の観光資源として活用できた。												
成果に係る評価	<p>管理団体としての基本的な維持管理を実施した。</p> <p>公有化については、所有者の同意が得られなかったため、平成21年度中の実施はできなかったが、今後継続して協議を進めていく。</p> <p>なお、抜本的な保存修復については、文化庁の指導を受け、所有者と協議しながら平成22年度中に修復計画を策定し、計画的に実施していく。</p>												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
7,358,074	7,188,700			860,300	6,328,400								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																				
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる																				
	4 目	図書館費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する																				
小 事 業	図書館活動費																								
事 業 名	読書環境整備事業																								
目的及び事業内容	図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し住民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、地域住民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、住民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的とされている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるためには有用な図書資料や情報の収集・提供に努め図書館サービスを推進する。																								
取 組 実 績	<p>1 新刊書を中心とした図書資料の購入・貸出</p> <p>(1) 新刊書を中心に、図書館で選定した図書及び利用者からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。</p> <p>(2) 新着図書コーナーに、新着図書の一覧を掲示することによって、新刊図書等の利用促進が図られた。</p> <p>2 レファレンス等による関連図書資料の貸出</p> <p>(1) 受付カウンターでのレファレンス(調査・相談)業務に基づき、テーマに関連した図書資料を含めて紹介するとともに、貸出を行った。</p> <p>(2) 特定テーマによる企画展・ミニ展示を開催し、利用者の関心をひきつけ、図書資料の紹介と貸出につなげることができた。</p> <p>3 ブックスタート活動の一環とした事業</p> <p>毎月1回、1歳代の乳幼児を対象に、「あかちゃんおはなし会」を実施した。</p> <p>4 ゴールデンウィーク期間中の特別開館による貸出</p> <p>5月3日から5日までの期間中特別開館し、利用者の便を図りつつ図書資料の貸出を行い、延べ1,087人の利用者があり、うち330人に対して1,679冊の貸出を行い、市民の読書活動を支援した。</p>																								
成 果	<p>活字離れ・読書離れが深刻な問題となりつつある中、石巻市図書館としては新刊書の購入・提供に力点を置き、さらにリクエスト図書の購入・他館からの借受けを促進して対応した。また、レファレンスサービスによる図書資料の紹介の充実を図った。その結果、前年度比較で貸出等利用の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,297 冊</td> <td>5,473 冊</td> <td>6,840 冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>352,174 冊</td> <td>353,334 冊</td> <td>356,541 冊</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>8,811 件</td> <td>8,443 件</td> <td>8,929 件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,827 件</td> <td>2,002 件</td> <td>2,016 件</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	図書購入冊数	6,297 冊	5,473 冊	6,840 冊	貸出冊数	352,174 冊	353,334 冊	356,541 冊	リクエスト処理件数	8,811 件	8,443 件	8,929 件	調査相談サービス	1,827 件	2,002 件	2,016 件
主な指標項目	H19	H20	H21																						
図書購入冊数	6,297 冊	5,473 冊	6,840 冊																						
貸出冊数	352,174 冊	353,334 冊	356,541 冊																						
リクエスト処理件数	8,811 件	8,443 件	8,929 件																						
調査相談サービス	1,827 件	2,002 件	2,016 件																						
成果に係る評価	<p>新鮮で豊富な図書資料を提供し、市民に親しまれる魅力ある図書館づくりを推進するため、十分な資料費の確保を行うことが不可欠である。現況では、図書館の望ましい基準に照らしてかなり低水準であるため、資料費を着実に確保・拡大させさせていく必要がある。同時に、「石巻市図書館・分館サービス計画」に沿って、図書館・分館の各種利用者サービスを充実させるとともに、企画展や講座・講習会等の事業展開を図り、市民を図書館・分館に惹きつけることに努める。</p> <p>また、「石巻市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、幼児期から読書に親しむ習慣を促進するため職員やボランティアによる読み聞かせを行うとともに、保育所・児童館への図書資料の貸出・児童書の充実・読書活動の支援を積極的に展開して行く。</p>																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
11,000,000	10,999,998				10,999,998																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																																	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																																	
	1 5 目	社会教育総務費 文化センター運営費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																																	
小 事 業	芸術文化振興費、文化センター運営費																																					
事 業 名	文化芸術事業、石巻文化センター管理運営事業																																					
目的及び事業内容	本市の文化芸術の活性化を図るため、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社に文化芸術事業推進のための補助金を交付し、質の高い文化芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに、学習・鑑賞・創造の文化活動を営むための中心施設として、文化センターの有効活用を推進するため、本市の文化芸術の専門的機関である同財団を指定管理者として選定し、施設運営の効率化を図る。																																					
取 組 実 績	1 指定管理者 財団法人石巻市文化スポーツ振興公社																																					
	2 指定管理料 93,738,236円																																					
	3 指定期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日																																					
	4 公演鑑賞事業																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>会場</th> <th>入場者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米空軍太平洋音楽隊演奏会</td> <td>市民会館</td> <td>1,157人</td> </tr> <tr> <td>「僕たちの好きだった革命」(演劇)</td> <td>市民会館</td> <td>1,088人</td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会</td> <td>市民会館</td> <td>1,156人</td> </tr> <tr> <td>鼓動ONE EARTH TOUR</td> <td>市民会館</td> <td>1,132人</td> </tr> <tr> <td>松竹大歌舞伎公演</td> <td>市民会館</td> <td>1,027人</td> </tr> <tr> <td>エンジョイライブ講演会 野村克也講演会</td> <td>市民会館</td> <td>1,116人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	会場	入場者	米空軍太平洋音楽隊演奏会	市民会館	1,157人	「僕たちの好きだった革命」(演劇)	市民会館	1,088人	陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会	市民会館	1,156人	鼓動ONE EARTH TOUR	市民会館	1,132人	松竹大歌舞伎公演	市民会館	1,027人	エンジョイライブ講演会 野村克也講演会	市民会館	1,116人												
	事業名	会場	入場者																																			
	米空軍太平洋音楽隊演奏会	市民会館	1,157人																																			
	「僕たちの好きだった革命」(演劇)	市民会館	1,088人																																			
	陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会	市民会館	1,156人																																			
	鼓動ONE EARTH TOUR	市民会館	1,132人																																			
松竹大歌舞伎公演	市民会館	1,027人																																				
エンジョイライブ講演会 野村克也講演会	市民会館	1,116人																																				
5 育成事業																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジュニアヴァイオリン教室</td> <td>延べ受講者数 534人 会場：文化センター</td> </tr> <tr> <td>音楽アウトリーチ事業</td> <td>開催校 湊第二小、荻浜小、湊小、稲井小</td> </tr> <tr> <td>幼児対象公演鑑賞会</td> <td>新型インフルエンザ感染拡大の懸念により中止</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	備 考	ジュニアヴァイオリン教室	延べ受講者数 534人 会場：文化センター	音楽アウトリーチ事業	開催校 湊第二小、荻浜小、湊小、稲井小	幼児対象公演鑑賞会	新型インフルエンザ感染拡大の懸念により中止																										
事業名	備 考																																					
ジュニアヴァイオリン教室	延べ受講者数 534人 会場：文化センター																																					
音楽アウトリーチ事業	開催校 湊第二小、荻浜小、湊小、稲井小																																					
幼児対象公演鑑賞会	新型インフルエンザ感染拡大の懸念により中止																																					
6 文化センター各施設利用状況 (H20.4.1～H21.3.31)																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総利用件数</th> <th rowspan="2">総利用者数</th> <th colspan="2">ホール</th> <th colspan="2">活動室</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,072件</td> <td>84,673人</td> <td>206件</td> <td>37,753人</td> <td>253件</td> <td>9,817人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">研修室</th> <th colspan="2">ギャラリー等</th> <th colspan="2">創作室</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,281件</td> <td>35,068人</td> <td>82件</td> <td>1,074人</td> <td>250件</td> <td>961人</td> </tr> </tbody> </table>					総利用件数	総利用者数	ホール		活動室		件数	人数	件数	人数	2,072件	84,673人	206件	37,753人	253件	9,817人	研修室		ギャラリー等		創作室		件数	人数	件数	人数	件数	人数	1,281件	35,068人	82件	1,074人	250件	961人
総利用件数	総利用者数	ホール		活動室																																		
		件数	人数	件数	人数																																	
2,072件	84,673人	206件	37,753人	253件	9,817人																																	
研修室		ギャラリー等		創作室																																		
件数	人数	件数	人数	件数	人数																																	
1,281件	35,068人	82件	1,074人	250件	961人																																	
7 展示室入館者状況																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総観覧者数</th> <th>常設展観覧者</th> <th>企画展観覧者</th> <th>市美術展観覧者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,765人</td> <td>2,686人</td> <td>1,511人</td> <td>1,568人</td> </tr> </tbody> </table>					総観覧者数	常設展観覧者	企画展観覧者	市美術展観覧者	5,765人	2,686人	1,511人	1,568人																										
総観覧者数	常設展観覧者	企画展観覧者	市美術展観覧者																																			
5,765人	2,686人	1,511人	1,568人																																			
8 石巻文化センターの音響機器・客席ダウンライト等の施設維持に係る修繕を行った。																																						
成 果	子どもたちを含めた多くの市民に、音楽をはじめとした質の高い芸術に身近に触れる機会を提供することができ、市民の芸術文化振興の一助として寄与することができた。 また、芸術文化に精通する専門的職員が施設を管理することにより、市民の施設利用の利便性が図られるとともに、施設管理の効率性が図られた。																																					
成果に係る評価	石巻市芸術文化基本方針において、財団法人石巻文化スポーツ振興公社が本市の文化芸術活動の中核と位置づけられているとともに、民間が実施する公演では、採算ベースに乗らない事業も実施している。さらに、平成18年度から平成22年度までの指定管理となっていることから、今後も財団のノウハウを活用しながら継続して実施していく必要がある。																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	103,041,975	103,031,211			34,047,785	68,983,426																																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる	
	6 目	生涯学習推進費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する	
小 事 業	生涯学習推進費					
事 業 名	生涯学習指導者登録事業					
目的及び事業内容	<p>優れた専門知識、技能、特技を有する講師や指導者の発掘とニーズに応じた情報提供活動を行い、市民や地域の団体・グループ、学校等が企画し実施する学習活動を支援し、市全体の生涯学習の更なる推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門知識、技能、特技を有する新たな人材や団体の発掘及び登録 ・人材団体情報・出前講座等の情報提供、社会教育施設の紹介 					
取 組 実 績	<p>市民の学習活動を支援するため、さまざまな分野の講師・指導者、各種団体・グループ情報を収集し、必要に応じて情報提供を行い、市民の学習活動をサポートした。</p> <p>人材・団体の登録数は前年度より1人、4団体増加し、平成21年度は170人、118団体となっている。出前講座と連携し、市民が身近な場所で自己の生きがいや趣味、そして自分たちの生活に役立つ最適な学習機会の提供を行った。</p>					
成 果	<p>優れた専門知識、技能、特技を有する人材や団体を幅広い分野から登録することにより、市民のニーズに合う学習機会の拡大を図ることができた。人材団体情報・出前講座等の情報提供により、市民が身近な場所で自己の生きがいや趣味、そして自分たちの生活に役立つ最適な学習機会を選択することができた。</p>					
成果に係る評価	<p>人材団体情報は、市民の学習機会の創出に重要な役割を担っている。今後、更に市民のニーズを把握し、それにあった情報の提供や、出前講座のみではなく、市民協働推進課の女性人材リストとも連携を図ることにより、よりいっそうの相乗効果が期待される。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況			決算額の財源内訳			
	予算額	決算額	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	90,000	40,760				40,760

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	8 目	歴史文化資料展示施設費		(2)	文化財を保護し継承する
小 事 業	歴史文化資料展示施設整備費				
事 業 名	歴史文化資料展示施設整備事業				
目的及び事業内容	郷土に対する誇りと愛着を深めるため、毛利コレクションや高橋英吉作品を含め、市内に所在する歴史文化資料を後世に引継ぎ、広く学習の場とするために展示保管施設を整備する。				
取 組 実 績	1 平成21年7月13日第3回基本計画策定委員会、平成21年8月11日第4回基本計画策定委員会を経て、平成21年8月24日基本計画を教育長に提言 2 平成21年9月10日～30日 パブリック・コメントを実施 (意見なし *完成後の運営上についての意見あり) 3 平成21年10月30日 基本計画策定				
成 果	石巻文化センターの改修整備に関し、毛利コレクション所有者及び市民意見を踏まえた石巻市歴史文化資料施設整備基本計画を策定した。				
成果に係る評価	市民の意見を反映した基本計画を策定し、平成22年度実施設計、平成23年度工事着工、平成24年度のオープンを目指す。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	3,687,000	3,521,650			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																							
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する																																							
	11 目	島の楽校費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる																																							
小 事 業	島の楽校管理運営費、島の楽校事業費																																											
事 業 名	自然体験学習推進事業（島の楽校）																																											
目的及び事業内容	<p>島の楽校での集団宿泊訓練を通して、児童・生徒が通常の学校生活では得がたいルールやマナー、助け合うことの大切さを体験的に学び、児童・生徒の健全な心身の育成並びに資質の向上に資する。また、子ども会育成会、ボランティアサークル等の社会教育団体については、集団宿泊訓練施設の場を提供することで、自主的・継続的な活動を奨励し、社会教育の振興を図る。</p>																																											
取 組 実 績	1 島の楽校における自然体験活動の推進																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体数</th> <th>利用者数</th> <th>利用者延人数</th> <th>利用延日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>2団体</td> <td>50人</td> <td>118人</td> <td>5日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0団体</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>2団体</td> <td>48人</td> <td>144人</td> <td>6日</td> </tr> <tr> <td>大学・その他</td> <td>16団体</td> <td>498人</td> <td>1,182人</td> <td>42日</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>20団体</td> <td>596人</td> <td>1,444人</td> <td>53日</td> </tr> <tr> <td>社会教育団体等</td> <td>11団体</td> <td>436人</td> <td>1,199人</td> <td>32日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31団体</td> <td>1,032人</td> <td>2,643人</td> <td>85日</td> </tr> </tbody> </table>					区分	団体数	利用者数	利用者延人数	利用延日数	小学校	2団体	50人	118人	5日	中学校	0団体	0人	0人	0日	高校	2団体	48人	144人	6日	大学・その他	16団体	498人	1,182人	42日	小計	20団体	596人	1,444人	53日	社会教育団体等	11団体	436人	1,199人	32日	合計	31団体	1,032人	2,643人
区分	団体数	利用者数	利用者延人数	利用延日数																																								
小学校	2団体	50人	118人	5日																																								
中学校	0団体	0人	0人	0日																																								
高校	2団体	48人	144人	6日																																								
大学・その他	16団体	498人	1,182人	42日																																								
小計	20団体	596人	1,444人	53日																																								
社会教育団体等	11団体	436人	1,199人	32日																																								
合計	31団体	1,032人	2,643人	85日																																								
	2 利用者確保のための取組 <p>利用者の増加を図るため、パンフレットの作成及び配布を行い、あわせてホームページも開設し、施設の紹介や申込み方法の簡素化を図った。また、宿泊室の改修を実施し、受入れ人数の大幅増を図った。</p>																																											
成 果	<p>集団生活をしながら、児童・生徒が自然に親しみ、自然を利用した活動を行うことにより、観察力や創造的な能力が育てられ、さらには共同生活を体験することにより日常生活では得がたいルールやマナーを学ぶとともに、健全な心身の育成が図られた。また、社会教育団体については、自主的・継続的な活動を奨励し、社会教育の振興が図られた。さらに、網地島の活性化につながり、離島振興の一翼を担うことができた。</p>																																											
成果に係る評価	<p>田代島の「自然教育センター」を平成20年度で廃止し、平成21年度より類似施設である、「島の楽校」に機能を統合して運営した。その結果、コスト削減を図ることができ、利用者の増加も図られたものと思われる。今後は、更なる利便性の向上や体験メニューの充実に努め、自然体験学習を推進していくこととする。</p>																																											
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	8,554,778	8,145,470			937,280	7,208,190																																						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち								
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ								
	13 目	河北総合センター費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する								
小 事 業	総合センター活動費												
事 業 名	かほく文化祭補助事業												
目的及び事業内容	地域の芸術及び文化活動の推進を図るとともに、住民の創造性や表現力を育み、心豊かな人間性を養うことを目的としており、地域文化の伝承と芸術振興の観点から、充実した事業内容で継続して実施していきけるよう運営補助を行っている。文化祭は、実行委員会が主体となって実施され、サークルの作品展示、芸能音楽祭、レッツダンス、神楽大会により構成されており、住民の関心も高く、毎年多数の人々が鑑賞している。												
取 組 実 績	<p>1 かほく文化祭実行委員会の開催 かほく文化祭の開催にあたり、文化祭実行委員会を立ち上げ開催日時や事業内容について協議を行うとともに、各団体やサークルの代表者による役割分担等についても打合せを行った。</p> <p>2 かほく文化祭の開催</p> <p>(1) 作品展は、文化協会加盟団体や公民館「趣味の教室」、「各種愛好会」の方々の作品展示を主体に、手づくり絵本展、茶道等の実演コーナーを設置して、来館者に体験していただいた。</p> <p>(2) 芸能音楽祭は、河北文化協会の所属団体、飯野川高等学校による合同演出を含め、17団体が日頃の練習の成果を文化祭の場で発表した。</p> <p>(3) 神楽大会は、皿貝、福地、後谷地、飯野川法印神楽保存会の4団体が8種目の演舞を披露し、観賞に訪れた人々に、法印神楽の舞いを十分に堪能していただいた。</p> <p>(4) レッツダンスは、河北地区の愛好者を中心に、各地区からの愛好者を含め多数の参加者により、総合センターの広いアリーナを会場に、華やかに披露された。</p>												
成 果	<p>かほく文化祭を開催することにより、河北地域における文化芸術活動の活性化が図られ、地域文化の伝承や芸術振興が推進されている。</p> <p>また、文化や芸術に対する人々の活動は、地域生活への意識改革や人間性の醸成に寄与すると共に、それらの大切さや保存、継承の必要性についての意識を啓発し、文化意識の高い地域社会の形成に大きく役立っている。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者数</td> <td>4,000人</td> <td>4,100人</td> <td>4,030人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H19	H20	H21	来館者数	4,000人	4,100人	4,030人
主な指標項目	H19	H20	H21										
来館者数	4,000人	4,100人	4,030人										
成果に係る評価	<p>かほく文化祭は、昭和61年以来、地域に密着したイベントとして開催されてきており、芸術文化の伝承や住民相互の親睦を深め、地域文化の向上に大きく貢献してきていることから、今後も継続して開催していく必要がある。しかし、事業内容については、マンネリ化しないよう見直しや改善に取り組む余地があり、開催に掛かる費用負担についても、参加費等を検討しなければならない。</p> <p>また、芸能音楽祭については、産業まつりと同日開催していることから、単独開催も検討する必要がある。</p>												
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	1,000,000	1,000,000				1,000,000							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																					
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																					
	13 目	遊楽館費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																					
小 事 業	遊楽館管理費																									
事 業 名	遊楽館管理運営事業																									
目的及び事業内容	市民の交流及び文化・体育の振興と健康増進を図り、もって公共の福祉の向上に資する。																									
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋・リハーサル室含む）</td> <td>21,373人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>18,315人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,384人</td> </tr> <tr> <td>会議室（和室・相談室含む）</td> <td>16,788人</td> </tr> <tr> <td>情報・視聴覚</td> <td>4,082人</td> </tr> <tr> <td>調理室・工房</td> <td>3,367人</td> </tr> <tr> <td>図書・ビデオ</td> <td>4,790人</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>28,300人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>32,850人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>135,249人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	利用者数	ホール（楽屋・リハーサル室含む）	21,373人	アリーナ	18,315人	トレーニング室	5,384人	会議室（和室・相談室含む）	16,788人	情報・視聴覚	4,082人	調理室・工房	3,367人	図書・ビデオ	4,790人	プール	28,300人	見学者	32,850人	計
区 分	利用者数																									
ホール（楽屋・リハーサル室含む）	21,373人																									
アリーナ	18,315人																									
トレーニング室	5,384人																									
会議室（和室・相談室含む）	16,788人																									
情報・視聴覚	4,082人																									
調理室・工房	3,367人																									
図書・ビデオ	4,790人																									
プール	28,300人																									
見学者	32,850人																									
計	135,249人																									
2 河南室内プールの指定管理者による管理運営 (1) 指定管理者 株式会社スポルス (2) 指定管理料 16,266,600円 (3) 指定期間 平成17年3月1日～平成22年3月31日																										
成 果	多目的な機能を有した施設であり、パイプオルガンを活用したコンサートの開催、音楽ホールを生かした各種事業の開催により芸術文化に親しむ機会を提供した。また、指定管理による室内プールを活用し利用者の健康増進が図られた。																									
成果に係る評価	個人や団体がそれぞれの利用形態に応じて利活用されている。特にかなんホールは設備が充実していることからピアノ教室の発表会やコンサートなど多くの方々に利用されている。今後は利用者のニーズにあった施設運営を行なうためにも機材等の補充が必要である。																									
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	74,759,375	72,669,287			14,273,891	58,395,396																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																			
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																			
	13 目	遊楽館費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																			
小 事 業	遊楽館活動費																							
事 業 名	遊楽館活動事業																							
目的及び事業内容	遊楽館のシンボルであるパイプオルガンの効果的活用と、かなんホールを拠点に充実した音楽施設を市民に有効的に活用していただくため、自主事業を開催することで、実際に公開しながら遊楽館の活用方法と利点をPRし、利用者の拡充と市民の音楽文化振興に寄与する。																							
取 組 実 績	1 文化振興事業実施状況																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城学院女子大学音楽科の贈るコンサート (2回)</td> <td>235人</td> </tr> <tr> <td>宮城学院女子大学音楽科オープンキャンパス (ピアノ・フルートクリニック)</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>こもれびフォーラム ヒルズコンサート (23回開催)</td> <td>998人</td> </tr> <tr> <td>こもれびコンサート2009「ロレンツォ ギエルミ パイプオルガン演奏会</td> <td>196人</td> </tr> <tr> <td>こもれびフォーラム パイプオルガンの集い2010</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>パイプオルガン体験演奏 (夏期・冬期・春期)</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>パイプオルガン講座</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>こもれびフォーラム アーティストとお茶しましょう</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>宝くじ文化公演 「森公美子コンサート」</td> <td>401人</td> </tr> </tbody> </table>					事 業 名	人 数	宮城学院女子大学音楽科の贈るコンサート (2回)	235人	宮城学院女子大学音楽科オープンキャンパス (ピアノ・フルートクリニック)	40人	こもれびフォーラム ヒルズコンサート (23回開催)	998人	こもれびコンサート2009「ロレンツォ ギエルミ パイプオルガン演奏会	196人	こもれびフォーラム パイプオルガンの集い2010	136人	パイプオルガン体験演奏 (夏期・冬期・春期)	56人	パイプオルガン講座	11人	こもれびフォーラム アーティストとお茶しましょう	7人	宝くじ文化公演 「森公美子コンサート」
事 業 名	人 数																							
宮城学院女子大学音楽科の贈るコンサート (2回)	235人																							
宮城学院女子大学音楽科オープンキャンパス (ピアノ・フルートクリニック)	40人																							
こもれびフォーラム ヒルズコンサート (23回開催)	998人																							
こもれびコンサート2009「ロレンツォ ギエルミ パイプオルガン演奏会	196人																							
こもれびフォーラム パイプオルガンの集い2010	136人																							
パイプオルガン体験演奏 (夏期・冬期・春期)	56人																							
パイプオルガン講座	11人																							
こもれびフォーラム アーティストとお茶しましょう	7人																							
宝くじ文化公演 「森公美子コンサート」	401人																							
成 果	2 体育振興事業実施状況																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トレーニング機器使用講習会 (24回開催)</td> <td>281人</td> </tr> </tbody> </table>					事 業 名	人 数	トレーニング機器使用講習会 (24回開催)	281人															
事 業 名	人 数																							
トレーニング機器使用講習会 (24回開催)	281人																							
成 果	<p>「こもれびフォーラム ヒルズコンサート」は平成18年4月から毎月2回開催し、平成22年3月で通算95回目の開催となった。身近にパイプオルガンのコンサートを親しんでいただいております、遊楽館を象徴する事業となった。</p> <p>また、パイプオルガンの体験演奏を通じて、市民共有の財産であるパイプオルガンを実際に演奏する機会を提供し、パイプオルガン講座を通じて、市民の中からオルガニストを養成し、コンサートなどで実際に活動している。</p> <p>宮城学院女子大学音楽科との連携事業を通じて、遊楽館の音楽施設を活用しながら、市民に質の高い音楽文化を体験する機会を提供した。</p> <p>また、遊楽館のトレーニングジム利用者の拡大を図り、市民の健康増進に寄与した。</p>																							
成果に係る評価	<p>遊楽館の文化事業は、大学との連携やオルガン演奏ボランティアという独自の制度を活用し、低コストで運営を図っているのが特徴である。特にパイプオルガン事業については、講座の受講生が基礎講座を修了するとボランティアに登録して音楽活動に携わるなど、オルガン文化普及の一翼を担っている。</p> <p>また、トレーニングジム講習者は平成22年3月現在で延べ2,157人となり、近年の健康志向と共に会員も更に増加傾向にある。</p>																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	735,000	698,971			313,800	385,171																		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち						
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる						
	13 目	遊楽館費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する						
小 事 業	パークゴルフ場運営費										
事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業										
目的及び事業内容	市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供し、市民の体力向上や健康増進を図る。										
取 組 実 績	<p>1 指定管理者 有限会社ふれあいパーク</p> <p>2 指定管理料 9,050,000円</p> <p>3 指定期間 平成17年3月25日～平成22年3月31日</p> <p>4 実施事業</p> <p>(1) 初心者への指導、講習（随時）</p> <p>(2) 各種大会の開催（7回開催）</p> <p>(3) 快適なゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持）</p> <p>5 年間利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>44,951人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>49,195人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用人数	H20	44,951人	H21	49,195人
年度	利用人数										
H20	44,951人										
H21	49,195人										
成 果	平成21年度の利用者数は前年度比4,244人増加した。利用者は市内はもとより県内外からも多く来場している。 なお、管理者以外でも各種団体による大会等が開催されていることから利用者の増加にもつながっている。										
成果に係る評価	本施設は通年利用が可能なおことから年々利用者が増加している。しかし通年利用しているため、芝生が痛んでも養生が出来ない状況にある。今後も多くの方に利用していただくためには常に快適なコース整備が求められる。今後は、芝生の養生が出来るようコースの増設と駐車場の整備が課題である。										
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源					
	9,060,000	9,060,000				9,060,000					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち		
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		
	1 目	保健体育総務費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		
小 事 業	体育奨励費						
事 業 名	スポーツ振興事業						
目的及び事業内容	市民の健康づくりと交流促進・「生涯スポーツ社会」の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、石巻シーサイドマラソン大会・市民スポーツフェスタ・石巻市小学生リレーマラソン大会・いしのみまきキッズ交流大会を実施している。(以上の4事業：スポーツ振興事業)						
取 組 実 績	<p>1 石巻シーサイドマラソン大会の開催 誰でも気軽にできる「走る」というスポーツを通して、体力の増強と健康の増進を図り、さらに応援を含めた参加者の交流を深め、活力ある健康都市づくりに寄与した。4コース25種目</p> <p>2 いしのみまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。 なお、平成21年度は、石巻市体育協会と「協働」で2回実施し、市民スポーツ参加の底辺拡大に努めた。</p> <p>3 石巻市小学生リレーマラソン大会 市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施するもので、スポーツを通じた青少年の健全育成、子どもたちの体力・運動能力の向上を目指し、さらには、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>4 いしのみまきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図りながら、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p>						
成 果	平成20年度と比較して、3事業で参加者が増加した。 なお、小学生リレーマラソン大会については、学校行事と重複し、参加チームが減少した。						
	年度	成果指標	石巻シーサイドマラソン	市民スポーツフェスタ	小学生リレーマラソン	いしのみまきキッズ交流	計
	H19	参加者数	1,204人	226人	611人	527人	2,568人
	H20		1,421人	455人	467人	310人	2,653人
	H21		1,734人	537人	367人	370人	3,008人
成果に係る評価	これらの事業には、「成人のスポーツ実施率の向上」、「子どもたちの体力と運動能力の向上」を達成するために必要な要素が含まれていることから、内容について、スポーツ振興審議会や体育指導委員会等意見の聴取しながら、前向きに検討していくことが必要である。また、事業の企画・運営については、今後も体育協会と「協働」で取り組み、さらなる事業の拡大を図っていくこととしている。なお、平成22年度においては、学校行事や他体協・スポ少事業との日程の重複を避けるため、平成22年2月の日程調整会議で期日の調整を図った。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
1,591,000	1,529,000					1,529,000	

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる	
	2 目	体育施設費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する	
小 事 業		牡鹿清崎運動公園管理費				
事 業 名		牡鹿清崎運動公園改修事業				
目的及び事業内容		現在の清崎運動公園グラウンドは、牡鹿体育館とともに牡鹿地区の社会体育振興の中心施設であり、スポーツを通じた交流の場として活用されているが、テニスコート（アスファルト系舗装：全天候型）が経年劣化によるアスファルト継ぎ目部の亀裂や表面塗装のはく離等により、利用に支障をきたしていたことから全面改修を行う。				
取 組 実 績		<p>牡鹿清崎運動公園テニスコート（2面）改修工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砂入り人工芝 A=1,444㎡ ・ 排水穴削孔 1,521箇所 ・ その他付帯工事 一式 				
成 果		改修により、地域の体育スポーツの拠点施設として有効活用されているほか、地区民のみならず市全域から利用者が訪れ、スポーツを通じた交流の場として活用が図られている。 また、平成22年度に統合により新設された牡鹿中学校ソフトテニス部で活用しており、学校運営の一助ともなっている。				
成果に係る評価		一層の利用促進を図るため、PR活動を実施していくとともに、施設を良好な状態で利用者に提供できるよう適切な維持管理を実施していく必要がある。				
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	10,670,000	10,669,050		10,100,000		569,050

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校給食費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ

小 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費
-------	------------------

事 業 名	学校給食センター運営事業
-------	--------------

目的及び事業内容	児童・生徒に豊かで栄養のバランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。 学校給食を通じて望ましい食生活食習慣の基盤形成を促すとともに、会食をとって豊かな人間関係を育成する。 地場産物を使い地域の特色を生かした学校給食を実施することにより、地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育てる。
----------	---

取 組 実 績	実施状況		(平成21年5月1日現在)							
	区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率				
	小学校	43校	8,959人	完全給食	共同調理場方式	100%				
	中学校	23校	4,751人	完全給食	共同調理場方式	100%				
	幼稚園	2園	88人	完全給食(桃生)	共同調理場方式	100%				
			126人	捕食給食(河北)	共同調理場方式					
	区分		小学校		中学校		幼稚園		計	
	センター名		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数
	渡波学校給食センター		8校	3,189人	3校	963人			11校	4,152人
	湊学校給食センター		7校	1,583人	4校	906人			11校	2,489人
住吉学校給食センター		4校	1,768人	4校	1,512人			8校	3,280人	
河北学校給食センター		11校	987人	6校	593人	1園	126人	18校(園)	1,706人	
河南学校給食センター		9校	1,285人	3校	678人	1園	88人	13校(園)	2,051人	
牡鹿学校給食センター		4校	147人	3校	99人			7校	246人	

成 果	1 栄養の改善及び増進が図られた。																
	2 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができた。																
	3 食育における食文化の継承として、学校給食において次の地場産物利用を図り、食事の提供のみならず「生きた教材」として地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育成した。 (1) 12月～1月の期間で、各センターで「牡蠣」を使った献立を2回実施 (2) 明治時代から続く近代捕鯨という伝統的地域特性を生かし、牡鹿地区において年12回、その他の地区においては年4回、鯨肉の献立を実施																
4 給食費の未納対策に関して、教育委員会、学校、PTAが一体となり収納対策に努め、悪質な滞納者に対しては、法的措置として石巻簡易裁判所へ「支払督促申立」の実施により、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。																	
	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>27校</td> <td>186人</td> <td>5,079,200円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>27校</td> <td>172人</td> <td>4,960,205円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>—</td> <td>△14人</td> <td>△118,995円</td> </tr> </table>	年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	H20	27校	186人	5,079,200円	H21	27校	172人	4,960,205円	比較増減	—	△14人	△118,995円
年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額														
H20	27校	186人	5,079,200円														
H21	27校	172人	4,960,205円														
比較増減	—	△14人	△118,995円														

成果に係る評価	学校給食については、児童・生徒の心身の健全な発育、正しい食習慣の醸成、健康管理のための食生活改善等の目的があり、また、生きた教材として地場産物を使った献立等を提供し食育に資することも求められており、平成21年度においては年間を通じてJAから地元野菜を購入するなどし、地場産物の使用割合は40.4%（金額ベース）となっている。平成22年度以降についても、できる限り地場産物を取り入れ、使用割合を高めていきたい。 また、学校給食センター運営費については、施設の老朽化による維持管理経費の増大により増加傾向にあるが、現在進めている搬送業務の長期契約への移行や、検討中の調理業務の民間委託等、経費削減に向けた取り組みを進めていきたい。
---------	--

予算の執行状況	(単位：円)					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
942,035,000	928,718,611			655,996,357	272,722,254	